

令和6年度全国学力・学習状況調査から

美作市立美作中学校

※結果分析(○できている ●できていない)
〈学力調査〉

【国語】

○「我が国の言語文化に関する事項」の問題において全国平均をやや上回った。既習事項の細部まで復習に努めている。
○全体的に全国平均より大きく下回る項目はなく、基本的な学習内容は身に付いていると考えられる。

●「書くこと」において物語の最後の場面を想像したり、工夫した表現の効果を説明したりすることに課題がある。授業の振り返りなど一定程度の文章を書く機会を増やすなど、自分の思考を文章化する力を強化するよう、全教科において授業改善を図る必要がある。

【数学】

○「データの活用」領域の四分位範囲を比較する問題や、「関数」領域の説明の問題では全国に比べて正答率が高い。

●4つの領域すべてにおいて全国に比べてポイントが低い。なかでも、「数と式」の領域では5ポイント以上低くなっており、基本的な学習内容の反復が必要である。

●「図形」領域の証明や、「関数」領域の説明する問題では全国と比べて無回答率が極めて高い。なかでも、証明問題の無回答率は受験者の半数を超えてしまっている。資料を読み取り、自分なりの分析を文章化、言語化する学習活動が必要である。

〈学習状況調査〉

○タブレット端末の授業での利用頻度は全国と同等のポイントか、上回っているものが多い。授業の工夫として、利用してきている成果であると捉えることができる。

●自分の考えを発表する場面で、目立った工夫をしていないと回答する生徒が全国に比べて20ポイント以上高い。また、総合の授業などで、発表する活動が少ないと感じている生徒も多いようである。

※学校としての対応・目標

- ・基礎基本の徹底、TMCなどを利用した計算力の向上を図る。
- ・授業改善を行い、生徒が課題を自力解決する機会を増やす。また、現在行っている質問教室や補充教室、放課後教室で生徒の質問に答えられる場面を設定し、自力解決のサポートをしていく。
- ・家庭学習と授業のさらなる連動を図り、自主学習の取り組みも推進する。
- ・問題演習や意見交流、発表などの場面を増やし、授業の中で生徒が活動する場面をさらに増やすよう、研修を重ねていく。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。